

講座名	【選択】 教育臨床の課題解決の糸口を探る II				
開講日	2019年8月8日(木) (予備日8月10日)				
時間数	6時間	講座の形態		講義	
受講予定者数	80名	履修認定対象 職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な受講対象	全教員
講座の到達目標	<p>講義1：万葉集から読み取れる、古代日本人の言語観と、現在の「ことば」への向き合い方について考察することができる。</p> <p>講義2：「学習者の能力・教育的要求は一人ひとり違う」、という江戸期の児童観に学び、アクティブラーニングに資する思考を身に付ける。</p>				
講座の概要	<p>講義1：「ことば」について考える。古代日本において、コトは「言葉」であり「事柄」であった。つまり、言葉に表すと言霊の力でそのことが実現すると強く期待されていた。そこから出発して、「ことば」で表現することについて改めて考えてみる。</p> <p>講義2：日本教育史上の子供の発見時代である、江戸時代の児童観、教育観を概観し、現場の教師として、現在の課題に何を活用して行くべきかを論ずる。</p>				
講座の計画	1時限	講義1：「ことば」で表現することの現在の意義を考える			
	2時限				
	3時限	講義2：子供発見時代だった江戸の児童観・教育に学ぶ －現在の課題探求を中心として－			
	4時限				
		試験（30分程度）			
修了確認の方法	筆記試験の評価による				
成績評価の視点	講義内容を、自分の考えでまとめているか				
備考	1時限は90分 テキストは使用しない。史・資料は授業時適宜配布する。				